

日独スポーツ少年団同時交流(受入)  
団長団グループ視察順序<2016～2019年>

年	構成県名	備考
2016年 (平成28年) 第43回	東日本Ⅰ(3グループ) ・北海道 : 北海道 ・東北Ⅰ : 青森県、岩手県、秋田県 ・東北Ⅱ : 宮城県、山形県、福島県	1グループ当たり1県を訪問し、計3グループを視察する。
2017年 (平成29年) 第44回	東日本Ⅱ(3グループ) ・関東Ⅰ : 栃木県、群馬県、千葉県、山梨県 ・関東Ⅱ : 茨城県、埼玉県 ・北信越 : 長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県	1グループ当たり1県を訪問し、計3グループを視察する。
2018年 (平成30年) 第45回	西日本Ⅰ(4グループ) ・東海 : 静岡県、愛知県、三重県、岐阜県 ・近畿Ⅰ : 滋賀県、京都府、兵庫県 ・近畿Ⅱ : 奈良県、和歌山県、大阪府 ・中国 : 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県	1グループ当たり1県を訪問し、計4グループを視察する。
2019年 (平成31年) 第46回	西日本Ⅱ(3グループ) ・四国 : 香川県、徳島県、愛媛県、高知県 ・九州Ⅰ : 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県 ・九州Ⅱ : 大分県、宮崎県、鹿児島県	1グループ当たり1県を訪問し、計3グループを視察する。

※以降、上記ローテーションの繰り返し(予定)。

<視察についての考え方>

- ・団長団グループの視察は、ドイツスポーツユース(以下dsj)と、4ヶ年をかけて全13グループを視察訪問するという申し合わせによるものである。
- ・団長団はdsj代表3名で構成され、同行通訳1名とともに、計4名で行動する。
- ・視察に係る基本的な経費(交通費、宿泊費、食費、施設使用料等)および同行通訳の謝金については、日本スポーツ少年団が負担する。
- ・東日本Ⅰ、東日本Ⅱ、西日本Ⅰ、西日本Ⅱの4地区におけるグループ視察順序および各グループ内における視察対象県については、ブロック会議にて各道府県の受入地を確認し、当該グループの受入市町村が決定した後、視察先のプログラムを勘案した上で、日本スポーツ少年団から対象県へ団長団の視察を依頼する。
- ・視察は、視察対象県に当該ドイツ側パートナーが滞在している期間内で実施する。